



学生の成長をサポートします。ボランティアやインターンシップを重視しています。

北海道・北東北の大学（法律系の学部・学科）にみる 公務員就職率ランキング（2014年3月卒業生）

順位	大学名	公務員就職率
1	東北大学法学部	53.0%
2	北海学園大学法学部 1部	38.8
3	北海道大学法学部	38.7
4	岩手大学人文社会科学部（法学・経済課程法学コース含む）	35.6
5	札幌学院大学法学部	32.6
6	弘前大学人文学部（現代社会課程法学コース含む）	27.1
7	東北学院大学法学部	21.1
8	札幌大学法学部	16.4
9	北海学園大学法学部 2部	15.2
10	岩手県立大学総合政策学部	14.8
11	東北公益文科大学公益学部	14.7
12	小樽商科大学商学部（昼間コース）	13.0
13	*北星学園大学経済学部経済法学科のみ（北星学園大学独自集計）	11.9
14	青森中央学院大学経営法学部	8.5
15	北星学園大学経済学部（経済法学科含む）	8.0
16	小樽商科大学商学部（夜間主コース）	7.9
17	富士大学経済学部（経営法学科含む）	6.9
18	東北文化学園大学総合政策学部	6.7

出典 『2015年度用 大学の真実の実力情報公開BOOK』（旺文社ムック、2014年9月）より作成。
注 *の北星学園大学独自集計は同大学HP参照。

学院法学部の上位進出！

ランキングの表を見ていただければ、おわかりでしょう。札幌学院大学の法学部は、5位にあります！

表題にありますように、北東北・北海道の大学（国公立大を含む）であり、法学部、法律系学科、法律コースなどがある大学、さらには法律学の科目をより多く学ぶ学部なども含めました。そのため法学部と同等の扱いをするには、必ずしも適切ではない大学もあります。

法学部に狭く限定せずに、なるべく広く大学を取り上げて、本学の位置づけをしようとしたのです。

算出方法ですが、次のようになります。
公務員就職率 = (公務員就職者数 + 教職就職者数) ÷ 就職者数

表を見ると、学院法学部は、道内の大学（法律系学部・学科）であれば、北海学園大学法学部（1部）、北海道大学法学部に次いで第3位になります。

学生の實力を成長させる大学！

このような目覚ましい実績は、学院法学部に入学生が4年間にめざましく「成長」していることを示しています。

公務員採用試験の対策としては、学部内の正規授業として8科目あることに加え、大学附設のエクステンション・センターにおいて低価格で予備校の授業を受けることができます。

2013年度からは元警察署長の市川宏先生に警察学の授業を担当していただいています。また元恵庭市長の中島興世先生に地方自治論の授業を担当していただいています。

もちろん警察官を目指す学生さんのために、模擬面接も徹底的に実施しています。地方公務員（事務職）の模擬面接にも、力を入れていくことにしています。

新しい学び にチャレンジ 札幌学院大学 法学部 2015.3

特集

元警察署長の市川宏先生の熱血授業



法学部では、警察学の授業に力を入れています。2年生の1年間を通じて市川先生の授業を受けることができます。

市川先生は現場で捜査にあたる刑事として活躍され、その後、署長になりました。警察の組織と仕事について学生の皆さんに熱く語ってくれます。4年生の警察官採用試験の受験者にとっては、なんども模擬面接をしてくれるやさしくもあり、厳しい先生です。

リメディアル（補習）授業にも力を入れる

法学部では、独自に数学と英語のリメディアル教育に取り組んでいます。なぜなのか？法学部に入り法律学は誰もがゼロからのスタートになりますが、数学と英語は高校までの学力差が出てきます。この数学と英語の基礎学力をしっかりと身につけることが、公務員採用試験と民間企業の適性検査に合格する重要な決め手となります。

このリメディアル授業を通じて修得した数学と英語の学力をもって、2年生から公務員試験対策演習を履修することになります。民間企業に進む学生さんにも適性検査の受験対策として、履修することを勧めています。

ボランティア、インターンシップを正規授業に！

社会人基礎力のアップに向けて、ボランティア活動、インターンシップを重視します。

これまでの法学部の学びは、座って講義を聞く座学が中心でした。しかし学院法学部は、座学の学びにとどまらず、正規の授業の中でボランティアやインターンシップに参加してもらい、社会人として必要となるコミュニケーションの力、一緒に共同作業を進める力、発言する力などを育てることに取り組みます。

そのきっかけは、公務員試験の変化にあります。北海道の行政職採用試験から専門試験がなくなりました。いわゆる教養試験だけになり、面接や集団討論での能力発揮が合格の決め手になっています。北海道のこのような変化は道内の市町村にも及んでいます。もちろん北海道警察の採用試験は教養試験だけです。やはり面接での受け答えが勝負です。

それでは、法学部はどのように社会人基礎力の養成に取り組んでいるのでしょうか？大学では少人数の専門ゼミナールがあり、そこで発表と討論がなされ、コミュニケーション能力を鍛える場となることは言うまでもないです。

このような従来からの鍛錬の場に加えて、「地域インターンシップ A」「地域インターンシップ B」という正規授業を新たに設けました。

「地域インターンシップ A」では、学内での聴覚障がい者のサポート、議員インターンシップ、北海道警察のボランティア活動（非行少年の立ち直り支援）、海浜清掃の NPO 活動などを奨励し、日誌・報告等の条件を設けて単位化しました。

「地域インターンシップ B」では、NPO の方に授業を担当してもらい、江別市を中心に街づくりの現場を歩き、地域の人たちとの交流も行います。

このような取り組みを通じて、民間企業の就活にも、公務員採用試験にも、果敢に挑戦する学生を育てたいと思っています。



2014 年度公務員試験合格者（現役。2015 年 3 月卒業予定）

刑務官、自衛隊、札幌市（消防）、北海道、北斗市、本別町、共和町、中標津町、旭川市（消防）、南渡島消防事務組合、北海道警、警視庁、秋田県警など。

特に北海道警察には 10 名の合格（女子 2 名含む）！

ここ数年（2011 年度、12 年度、13 年度）の合格状況

国家公務員（一般）、国税専門官、労働基準監督官、自衛隊（幹部候補生）、自衛隊、北海道、札幌市（一般事務）、函館市、苫小牧市、江別市、三笠市、長沼町、岩内町、小平町、遠軽町、新十津川町、積丹町、六ヶ所村、北海道警察、警視庁、千葉県警、秋田県警、東京消防庁、盛岡地区広域消防組合、埼玉県警など。



多様な専門領域のコラボによる新しい学びに挑戦！！

法学部って、法律学を勉強するだけのの？

学院法学部は違います。法律学の標準的な修得を基礎に、さらに掘り下げて学ぶこともできれば（アドバンスト・コース）、政治学・行政学・経済学・社会学・情報学などの他分野にも学びを広げることができます（スタンダード・コースとキャリアアッププログラム・コース）。もちろん、就職や資格取得・検定合格に結びつくような授業科目の構成になっています。

学院法学部の学びの戦略は何か？

1. 就業力のアップ

2014 年 4 月スタートの新しいコース制では、CUP（キャリアアッププログラム）コースを設けました。これは経済学部、社会情報学部との連携によって、専門科目の融合を行い、4 つのプログラム（推奨履修科目群）を作りました。公共政策（公務員養成）プログラム、金融（ファイナンシャル・プランナー）プログラム、情報（IT）プログラム、社会調査プログラムです。いずれも就職を意識しており、また就職後も社会人として必要となる知識とスキルを学ぶことになります。

2. 早期の小さな成功体験

1 年生、2 年生の早い時期に法学検定ベーシックの試験に挑戦し合格してもらいます。そのためのサポートをしています。またビジネス能力検定 3 級の受験も正規授業の中でサポートしています。早期の成功体験をもとに、さらに上位に向かって挑戦してください。

3. リメディアル（補習）授業

数学と英語の基礎学力を鍛えなおします。それを踏まえて、公務員試験対策の授業に進みます。

4. 社会人基礎力のアップ

知識、スキルだけではなく、判断力、コミュニケーション力を成長させるために、ボランティアやインターンシップを正規授業として大胆に位置付けました。